

小学校に入学すると…

- ✳️ 新たな友達に会い、新たな集団でのルールや決まりに従った新しい生活が始まります。
- ✳️ 遊びの体験を通じた学びから、教科の学習による学びが始まります。

小学校の先生からのアドバイス

- ・あいさつは友達づくりのきっかけです。家庭でもあいさつを心掛けましょう。「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉も大切です。
- ・朝食を食べていないと集中力がなくなり、学習に支障が出るので必ず食べるようにしましょう。
- ・入学当初の学習は、十分に温かく見守り指導していきます。勉強が楽しくなるには、家庭でも「ほめて伸ばす」ことが大切です。
- ・放課後の遊びは、「どこで」「誰と」「何時まで」を決めて守らせましょう。



保護者のみなさまへ



家庭は、子どもの健やかな育ちの基盤であり、子どもの心の拠り所となるものです。

家庭教育は、基本的な生活習慣や生活力、他人を思いやる心や善悪を判断する力など、子どもの生きる力を育てる教育の出発点です。

愛情で結ばれた家族との日々の生活を通じて、人への安心感や信頼感が培われ、自立心や自制心が育ち、社会的なマナーなどを身に付けていきます。

北区では、乳幼児期からの健やかな子育てを応援する取組をしています。

北区教育総合相談センター

○ **教育相談全般** **03-3908-1326**
学校生活、友達関係、学校不適応、不登校、家族関係、発達の遅れ、障害などのご相談を受け付けています。

○ **就学相談** **03-3908-1237**
次年度に新たに小学校へ入学するお子さんの学びの場についてのご相談を受け付けています。

○ **いじめ110番** **03-3905-3110**
いじめで悩んでいて誰にも話せないとき、話したいことがあるのに相手がないときなどにご相談ください。

受付時間

月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）
午前8時30分～午後5時30分

令和2年6月発行 刊行物登録番号 2-2-013
北区教育委員会事務局 教育振興部 教育政策課
東京都北区滝野川2-52-10 TEL.03-3908-9279

小学校への入学前に

家庭で経験させたい

10

の大切なこと



主な子育て関連のホームページ

おすすめのサイトがリニューアルしました

東京都教育委員会
乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト

<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/nyuyoji.html>



北区子育て応援サイト「きたハピ」

<http://www.city.kita.tokyo.jp/kitahapi/index.html>



東京都北区教育委員会



1 規則正しい生活を!

小さい頃から「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を身に付けることで生活リズムが整います。

起きる時間・寝る時間・食事・排泄・登園などを、決まった時間にできるようにすることが大切です。小学校の登校時間を意識して、食事や着替えなどを行いましょう。



3 食べることを楽しもう

季節と食材に関する絵本や知識に触れることで、食への関心が広がります。思考力や判断力も高まり、心身ともに大きく成長する時期です。



家族で、その日の出来事などを話しながら、食事を楽しみましょう。箸の持ち方は、鉛筆の正しい持ち方につながります。

2 自分のことは自分で

着替えや衣服の始末、身の回りのこと等、自分のことは自分ですることが大切です。

食事前・排泄後・帰宅時のうがい・手洗いも身に付けましよう。

4 体を動かす楽しさを!

いろいろな動きを経験し、体を動かす楽しさを味わうことが大切です。また、がんばりを友達と認め合い、刺激し合って遊びが発展していきます。

家族で公園などに出かけ、一緒に体を動かして遊びましよう。



5 自然に触れましよう

自然体験は、子どもたちの心や感性を育て「生きる力」の基盤になります。また、身近な自然と触れ合い、変化や美しさ、不思議さに興味・関心をもつ時期です。

興味のあるものにじっくりと取り組めるように、せかさず共感することで、意欲や好奇心、探究心が育ちます。



6 絵本の読み聞かせを

文字が読めるようになってからも、絵本の読み聞かせを続けることが成長に欠かせません。

散歩や遊びなどの日常生活の中で、文字や記号、数などに触れる機会をもつようにしましよう。



7 自分で考えて行動する力を!

興味や関心をもったものに集中して取り組む時期です。試行錯誤を重ね、友達と刺激し合いながら取り組むことは、小学校生活での学習意欲・態度の基礎力につながります。

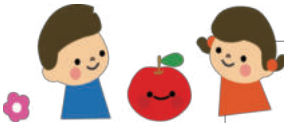
子どもが自分で考えたり、行動したりできるように見守る余裕が必要です。安全に気を付けて行動できるようにしましよう。

かかわる力

8 伝え、受け入れ合う

友達と共通の目的に向かって、考えを出し合いながら遊ぶ楽しさを感じる時期です。自分の気持ちを相手に分かるように伝えること、相手の気持ちを聞いて自分と違うことを知り、それを受け入れたりする経験が大切です。

家族との温かいつながりは心の支えです。子どもの話はじっくり聞いてあげましよう。話すこと、聞くことを楽しんでするようになります。



9 ほめて自信をもたせる

遊びを通して友達の良さを認めたり、自分のことを認めてもらう経験によって、認め合う力や連帯感が育ち、信頼関係を深めます。

簡単な手伝いを頼み、できた時に「ありがとう」「助かったよ」と気持ちを伝えて、ほめることが大切です。子ども自身が役に立っていると実感し自信となっていきます。



10 決まりや約束を守る

集団生活では、マナーやルールを守ることが大切です。友達とのルールがある遊びが楽しくなり、何度も繰り返して遊ぶようになります。自分の思いを通そうとして中断したりしますが、ルールを自分たちで考えたり、お互いに折り合いをつけて遊びや生活を進めることが大切です。

「良いこと・悪いこと」を子どもにはっきり伝えましよう。また、「時間を守る」「他人に迷惑をかけない」などのルールを教えることも大切です。

